

「経済財政運営と改革の基本方針2014」（骨太方針）及び
「日本再興戦略」改訂2014における
「選択する未来」委員会中間整理を踏まえた記述等

総論

従来の少子化対策の枠組みにとらわれず、福祉分野以外にも、教育、社会保障、社会資本整備、地方行財政、産業振興、税制など、あらゆる分野の制度システムを見直し、2020年を目途にトレンドを変えるために抜本的な改革・変革を推進。希望通りに働き、結婚、出産、子育てを実現することができる環境を整え、人々の意識が大きく変わること、50年後にも1億人程度の安定的な人口構造を保持。（骨太方針）

- これまでの少子化対策の延長線上にない政策を検討（骨太方針）
 - ・ 財源を確保した上で子供への資源配分を大胆に拡充（骨太方針）
 - ・ 第三子以降の出産・育児・教育への重点的な支援（骨太方針）
- 地域の活力の維持、東京への一極集中に歯止めをかけ、少子化と人口減少を克服することを目指し、総合的な政策の推進（骨太方針、再興戦略）
 - ・ 司令塔となる本部の設置、政府一体となって取り組む体制を整備（骨太方針、再興戦略）

成長・発展関連

イノベーション（創意工夫による新たな価値の創造）を促進する（中略）。付加価値生産性の向上・輸出競争力の確保を実現し、高い価格でも購入される財・サービスを生み出すことで、交易条件を改善する（中略）ことで、実質GNIの伸びを高めるような新たな成長メカニズムを構築。（骨太方針）

- 日本から常にイノベーションが生まれ、これが次々に産業として発展していくイノベーション・ナショナルシステムの構築（骨太方針）
 - ・ 革新的な技術シーズを事業化に結び付ける「橋渡し」機能強化（骨太方針、再興戦略）
 - ・ 研究資金制度の再構築（再興戦略）
 - ・ 新たな研究開発法人制度の実現（骨太方針、再興戦略）
 - ・ イノベーションを促す知的財産戦略や標準化戦略（骨太方針、再興戦略）等
- ブランド等の知識資本の蓄積・活用、人的投資、マーケティングの革新（骨太方針）
 - ・ ビッグデータを活用したマーケティングをはじめとした革新的な経営の促進（再興戦略）
 - ・ サービス産業の革新的な経営人材の育成を目指した大学院・大学における、

サービス産業に特化した実践的経営プログラムや、専門学校等における実践的教育プログラムを開発・普及（再興戦略）等

- 企業の新陳代謝を促し、「起業大国」を目指すことによる経済のダイナミズムの向上（骨太方針）
 - ・コーポレートガバナンス強化、そのため「コーポレートガバナンス・コード」の策定（骨太方針、再興戦略）
 - ・民間資金を活用した中長期の成長資金の供給促進（骨太方針、再興戦略）
 - ・産業の新陳代謝に向けた金融機関等による企業に対する経営支援や事業再生の促進。国際金融センターとしての地位確立（再興戦略）
 - ・ベンチャー企業と大企業のマッチング（「ベンチャー創造協議会」（仮称）の創設）、多様な人材を活用したベンチャーを創出するための低利融資制度の拡充（再興戦略）
 - ・シリコンバレーへのベンチャー人材の派遣やトップクラスのベンチャー支援人材ネットワークの形成等を通じた企業家育成、企業と地元高校が連携したグローバル・リーダー人材育成拠点の形成（再興戦略）等

人の活躍関連

労働力人口の減少が見込まれる中、抜本的な少子化対策を講じるとともに、女性、若者、高齢者を始め、全ての人々が意欲、個性、能力に応じて活躍できるような社会が実現することを目指す。また、教育の再生・人材育成、キャリア教育・職業教育の充実等により、質の高い人材を育成していく。（骨太方針）

- 男女の働き方に関する様々な制度・慣行や意識、ワーク・ライフ・バランスを抜本的に変革（骨太方針）
 - ・働き方改革の実現（「多様な正社員」の普及、働き過ぎ防止のための取組強化、時間ではなく成果で評価される制度への改革、裁量労働制の新たな枠組み構築等）（骨太方針、再興戦略）
 - ・育児・家事支援環境の拡充（仕事と子育て、介護の両立を進める企業への支援、「放課後子ども総合プラン」、保育士確保対策の着実な実施、子育て支援員（仮称）の創設、外国人家事支援人材の活用等）（骨太方針、再興戦略）
 - ・働き方に中立的な税制・社会保障制度への見直し（経済財政諮問会議で年末までに総合的に検討）（再興戦略）等
- 若者等の活躍促進、再チャレンジ支援、格差の再生産回避（骨太方針）
 - ・複層的、複線的な再チャレンジの機会を確保し、一人ひとりが活躍していくことができる環境を労使など関係者で議論（骨太方針）
 - ・非正規雇用労働者の教育訓練機会の確保、処遇改善、不本意非正規の正規雇用化（骨太方針）

- ・人財育成や、職業訓練の抜本的拡充、産業側・企業側ニーズに合致した質の高い職業訓練の実施（骨太方針・再興戦略）
 - ・学び直し機会の拡充、ライフステージに応じたキャリア転換の支援など、自らの専門性を高める能力開発を行うことができる環境整備（骨太方針）
 - ・学校段階での職業意識の醸成（再興戦略）
 - ・若者の「使い捨て」が疑われる企業等への対応策の充実強化（骨太方針、再興戦略）
 - ・子どもの貧困対策に関する大綱を策定し、官民が連携して子どもの貧困対策を推進することなどにより、格差の再生産を回避（骨太方針）等
- 希望する人は70歳まで働くことができる環境の整備（骨太方針）
 - ・高齢者が地域社会に参画しやすい場づくりなど生涯現役社会に向けた環境整備を推進（骨太方針、再興戦略）
 - ・65歳を過ぎても働ける企業の普及促進（再興戦略）

地域の未来関連

地域に働く場所を創出する「個性を活かした地域戦略」を推進する。若者等が地域で活躍を続ける社会を形成し、大都市圏から地方への人の流れを創出する。また、地域の合意形成の下での都市機能の集約や地方中枢都市圏等の形成等を図り、行政サービスの集約と経済活動の活性化を実現する。（骨太方針）

- 民間の資金、ノウハウ等を大胆に導入し、景観や歴史文化といった地域資源を活用し、人や情報の交流・連携による広域ネットワークを活かした取組を推進（骨太方針）
 - ・地域活性化をワンパッケージで実現する伴走支援プラットフォームの構築（再興戦略）
 - ・地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成（再興戦略）
 - ・各地域に戦略産業を支える人材を根付かせるため「地域人材バンクを創設」、若者による地域活性化に資する創業やU I Jターン等を支援（再興戦略）
 - ・定期借地権、不動産証券化等の手法を活用（骨太方針）等
- 都市再生を妨げる障害を除去し、集約の取組を加速（骨太方針）
 - ・集約統廃合に伴う除却に係る諸コストを賄う地方債の積極活用（骨太方針）
- 地方での暮らしを望む大都市の高齢者が地方の医療・介護サービス等を利用しつつ生活しやすい地域づくりを推進（骨太方針）
- 地域金融を含む地域経済の活性化を通じた地域の資金循環や社会的責任投資等に係る市場の拡大（骨太方針）
 - ・地域金融機関等による事業性を評価する融資の促進等（再興戦略）